

2005年4月22日

京都市文化市民局長 様

私たちが考える新しい伏見青少年活動センター

提案書

新しい京都市伏見青少年活動センターが計画されるのに当たって、「青少年活動センターがこうなったらいいという案を作ってほしい!」という声掛けに応じて集まった19人のメンバーは、4ヶ月あまりにわたって議論を重ねて、この「提案書」をまとめました。まだまだ、形になりきれないアイデアや、議論の過程でみんなの合意が詰め切らないところも残っていますが、それでも将来にわたって新しい青少年活動センターを使ってくれるだろう若者や、若者を支えてくださる人たちにとって、使いやすい施設づくりのプランとなっていると思える提案にまとめることができました。

ぜひ、この若者からの提案を受け止めて、伏見区総合庁舎の計画の中に位置づけ、実現していただきますよう、よろしくお願い致します。

京都市伏見青少年活動センター建替えプロジェクト(TP)

メンバー一同

伏見青少年活動センターを利用する青少年について

伏見区内だけでなく京阪電車や近鉄電車などを活用して、幅広い地域からの青少年の利用があるのが、伏見青少年活動センターの特徴です。また、現在の青少年活動センターは、京都に暮らしている外国人や多様な文化背景を持った人たちへの支援と、それを担う若者を育てることを、大きなテーマとして事業を進めています。青少年活動センターには、青少年の自主的な活動の拠点、文化創造の拠点、青少年を支援し地域・多世代と交流する活動の拠点という役割が期待されていますが、大きくは、従来のそうした役割や機能を引き続き持つていけることを前提として、新たな施設の内容を考えていきました。

現在の施設について

現在の伏見青少年活動センターは、福祉事務所と合同でその2・3階を使用していますが、ご存じのようにエレベーターなどもなく、バリアフリーからはほど遠い施設です。また、いろいろなグループでのミーティングなどに使える部屋の大きさや数が不足していて、行事の時や自習のスペースとしてロビーを区切って活用するなどのやり繰りをしています。さらに、3階にはスポーツ室と柔道場がありますが、空調設備もなく天井が低いため、使い方には大きな制約があります。

そうした問題がありながらも一方で、広いロビーを柔軟に活用できることや、少し古くなって多少の汚れを気にせず使えることなど、若者にとって居心地のいい施設になっている面もあります。今回の建替えプロジェクトでは、そんな現施設の良さを残しつつ、問題点を改善することを意識しながら、プランを考えました。

これからの青少年活動センターのあり方

これからの青少年施設に必要な機能を整理し、その機能を果たす施設・設備について提案書にまとめました。次の8つが新しい施設に求めたい機能です。

- (1) 「ひとりでもほっとできる」機能
- (2) 「悩みを打ち明け、相談できる」機能
- (3) 「情報を得たり、発信したりする」機能
- (4) 「エネルギーを発散できる」機能
- (5) 「自己表現できる」機能
- (6) 「職業体験ができる」機能
- (7) 「交流できる」機能
- (8) 周辺環境の活用

施設（案）

上の8つの機能を満たすことができる施設として、私たちが望んでいる案をまとめています。
大きくは、次の3つのゾーンからなっています。

- 「くつろぎと交流」ゾーン
- 「グループ活動」ゾーン
- 「スポーツと表現」ゾーン

● 「くつろぎと交流」ゾーン

施設名 (部屋に含むスペース)	必要な 面積	必要な理由	考えられる使い方 必要な備品など
ロビー(交流スペース) ※ ロビーには次の5つのコーナーを含みます。	220㎡	ひとりでもゆったりと使え、新しい交流が生まれるセンターで最も重要な部分。この場の雰囲気が全体に大きな影響を与える。 3つの大きなコーナーと機能ごとのコーナー	目的のあるコーナーと移動がしやすい机、椅子、ソファ（できるだけたくさん） 各種の自動販売機（デポジットでリサイクルも） コインロッカー、雑誌、テレビ、掲示板、チラシ置き場、伝言板、本棚（不要な本の寄付）
(ロビー畳コーナー)	(20㎡)	横になれる、小グループで座って話す、 和室として使う。	床より40cm くらいの高さのコーナーで、仕切りをする と和室としても活用できる。
(ロビー展示コーナー)	(20㎡)	自分たちの作品を展示したり、若者に見てもらいたい作品を展示する。	可動式のパーテーション 可動式の照明装置
(ロビー調理コーナー)	(40㎡)	気軽に自炊もできる入りやすいコーナー 個人や小グループでも料理室として使える。 イベントの時に大人数の調理ができる。	換気のためパーテーションでロビーと仕切る（料理室として使う場合）。ただし、ロビーと一体で使うことも考える。 現在の料理室の食器などの規模はそのまま使う。 ロビーに向かって可動式の喫茶カウンター
(ロビー自習コーナー)		少人数でのグループ学習の場所が必要。	机と椅子

(ロビーPCコーナー)		インターネットやパソコンが利用できるスペースが必要	パソコン、プリンタ
個別学習室	25m ²	静かに勉強したい人の部屋	仕切りのある学習机，蛍光灯，荷物置台付20台。静かさが必要なので端の位置に配置する。
相談室	10m ²	カウンセリングや個人の悩み事相談ができる。	相談に来る人に圧迫感を与えないように，大きめの窓をつける，落ち着ける色のカーテンやカーペット，香り，照明人目に触れず入れるように入口近くに配置する。
倉庫	60m ²	上の階	
事務室	60m ²		
休憩室	(10m ²)		
屋上	—	屋上緑化で建物の冷却効果をねらう。 ガーデニングや野菜作りを若者が担当して市民との交流の場にする。	子どもと交流できるビニールプールや池があるとよい。

● 「グループ活動」ゾーン

施設名 (部屋に含むスペース)	必要な 面積	必要な理由	考えられる使い方 必要な備品など
グループ活動室(大)	85㎡	会議だけでなくダンス、演劇の練習などにも使える。	割れない鏡，服をかけるハンガー 必要に応じて 45 ㎡と 40 ㎡に分割できるパーテーション，ホワイトボード，スクリーン 振動と音で他の階に迷惑をかけないように <u>防音と振動対策</u> を特にお願したい。 閉塞感をなくすため，また換気のための窓が必要。
グループ活動室(中)	40㎡	靴を脱いで使える板張りにすることでダンスや演劇にも使える。	バレー用のバー，靴置き場，ホワイトボード，割れない鏡，振動と音で他の階に迷惑をかけないように <u>防音と振動対策</u> を特にお願したい。 閉塞感をなくすため，また換気のための窓が必要。
グループ活動室(小)	20㎡	会議の他，小グループの合唱ができる。	ピアノ，ホワイトボード， <u>防音設備</u> 閉塞感をなくすため，また換気のための窓が必要。
印刷室	15㎡	文集やミニコミ，チラシなどを印刷する。	印刷機，紙折り機，製本機，帳合機，作業台，グループロッカー 換気のための窓が必要。

● 「スポーツと表現」ゾーン

施設名 (部屋に含むスペース)	必要な 面積	必要な理由	考えられる使い方 必要な備品など
スポーツ室1	220m ²	フリータイム(予約なしで少人数でも使える)としての利用と夜間のグループ利用に分けることで、ひとりでも使えるスポーツ施設をめざす 大きなイベントの会場としても使う。 土足で使える入りやすさ バレーボール,バスケット,フットサルなどを行うのに十分な <u>高さ7m</u> が望ましい。 下の階	バスケ用ゴール, バトミントン, バレーボールのポール, フットサルゴール, マット, 仕切りネット, 割れない鏡, 演台, 移動式舞台, P A, スクリーン, 椅子100脚 振動と音で他の階に迷惑をかけないように <u>防音と振動対策</u> を特にお願したい。
スポーツ室2	120m ²	武道や伝統芸能, ダンス, 卓球などのほか, 座ってゆっくりできる。 ビデオ上映や食事会ができる。 上の階	畳(枠を移動させて畳の面積を変える)卓球台, 割れない鏡 振動と音で他の階に迷惑をかけないように防音と振動対策を特にお願したい。 汚れてもすぐに拭ける畳
更衣室	35m ²	スポーツやダンスなどの利用で着替えられる。	鏡, ロッカー, 椅子(またはソファ)
体育倉庫	40m ²	下の階	上下で上手く配置すると合理的

配置図案



